

岡山大学病院のニーズ・マッチング活動事例

○岸本 俊夫（岡山大学 研究推進機 産学官連携コーディネーター），櫻井 淳（岡山大学 研究推進機構 医療系本部 本部長／岡山大学病院 新医療研究開発センター 准教授），那須 保友（岡山大学 理事（研究担当）・副学長／研究推進機構 機構長）

1. はじめに

岡山大学は平成26年度（2014年度）から5年間、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の国産医療機器創出促進基盤整備等事業に採択され、近県の医療福祉機器企業を対象に、医療機器開発人材の育成研修、医療現場の見学、シーズ・ニーズ発表会およびマッチング活動などを実施した。

最終の平成30年度（2018年度）は、岡山大学病院の医療現場の困りごとを医師、歯科医師のみならずコメディカルを含めた医療従事者から広く収集し、岡山県内だけでなく近県の企業とのニーズ・マッチングに注力した。その経過と実績について報告する。

2. ニーズ・マッチングの実施経過

（1）医療現場のニーズ・アンケート

平成30年（2018年）6月20日～7月6日、医師、歯科医師、コメディカル（看護師、臨床検査技師、臨床工学技士、歯科技工士、理学療法士等）に対し、医療現場での困りごとをアンケートした。病院長が医局・診療科に協力要請通知を発信するのに合わせて、コーディネーターが医療現場に出向き、特にコメディカルに対して直接アンケート用紙を手渡し、協力を依頼した。

（2）ニーズの評価

産学連携を担当する医師、コーディネーターで協議して、困りごとが解決可能か、医療現場に一般的なニーズか、既存品が存在しないかなどを判断し、分類を行った。

（3）ニーズシートの作成

アンケート回答者にヒアリングし、誰が、いつ、何を困っているかについて企業目線の内容をニーズシートに記載し、A4版1枚にまとめた。知的財産権につながりそうな情報は排除した。

（4）ニーズシートの公開（1回め）とニーズ発表会の開催

7月25日にWebサイトでニーズシートを公開した。約1ヶ月後の8月27日にニーズ発表会を開催し、参加企業から解決策の募集を開始した。

（5）マッチング面談（第1弾）

解決策の提案があった企業とアンケート回答者との個別面談を11～12月に実施した。

（6）ニーズシートの公開（2回め）とマッチング会（第2弾）の開催

12月4日～平成31年（2019年）1月16日、Webサイトにニーズシートを公開し、1月31日のマッチング会への参加企業を募集した。前回実施したニーズ発表会を今回は実施せず、一日で集中的に、医療従事者と企業とのマッチング面談を実施した。

3. ニーズ・マッチングの成果

2週間という短期間で困りごとアンケートを実施した結果、83件の回答が得られた。意図したとおり、コメディカルからの回答が約半数を占めた。歯科分野が38件得られた。

ニーズ評価の結果、12件についてニーズシートを作成した。さらに詳細な情報が必要なアンケート回答者に対してヒアリングを行った。

発表会の企業参加者へのアンケートでは興味ありと答えた企業は延べ55件に上った。うち解

決策の具体的な提案をつけてマッチング面談に応募した企業は延べ10件、すべての提案についてアンケート回答者と企業との面談を実施した。

残りのアンケート回答に対して、2回目のニーズ評価を行い、11件についてニーズシートを作成した。ニーズシートをWebサイト上に公開し約1か月間解決策を募集した結果、13件の申込みが企業からあった。うち12件についてマッチング面談を実施した。

令和元年（2019年）11月時点において、共同研究契約を締結済みのニーズが3件、共同研究に向けて仕様立案や試作中のニーズがおおよそ8件となっている。

4. 今後の課題

ニーズ・マッチング活動を続ける間に、明らかになった課題は4つある。

- ①ニーズの一般性：本院独自のニーズか、他の病院にも共通するかが判断できない。
 - ②ニーズの市場性：製品化したときの市場規模が算定できない。
 - ③共同研究経費：共同研究契約で企業が支出する研究費の負担が大きいと企業が感じている。
 - ④コメディカルの研究業務：看護師等は研究担当ではないので共同研究ができない。
- ①②の理由で企業が商品化に踏み切れないケースが多い。③④は本学の事情であるが、何らかの対応策が必要である。

5. 今後の計画

県下の病院間連携を活用して、ニーズの一般性を調査すること、ニーズの評価者に医療機器市場に精通した販売業者、金融機関など他業種の‘目利き役’に参画してもらう。企業が参加しやすい仕組みと環境を整えていく計画である。

【謝辞】

本活動は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）国産医療機器創出促進基盤整備等事業の補助金によって行われた。

岡山県 産業労働部、公益財団法人岡山県産業振興財団、特定非営利活動法人メディカルテクノおかやまの方々のご協力に深く感謝いたします。

表 ニーズ・マッチングの成果

(1)	ニーズアンケート	83件回収
(2)	第1回ニーズ評価	ニーズシート公開12件
(3)		
(4)	ニーズ発表会「 <u>メディカルニーズマッチング</u> 」を開催 ・ニーズシート12件を提案者が発表 ・「興味あり」テーマをアンケート調査	参加18社27名 興味あり延べ55件
	マッチング面談の募集	申込10件
(5)	マッチング面談の実施	面談10件
	第2回ニーズ評価（残件71件）	ニーズシート公開11件
	マッチング面談の募集	申込13件
(6)	「個別マッチング」を開催 マッチング面談の実施 （中央西日本メディカル・イノベーションと併催）	面談12件 （1件は日程が合わず）
	共同研究契約 共同研究に向けて検討中	契約済み3件 継続中おおよそ8件



写真 マッチング面談の様子